

「第2期旭川市学校教育基本計画(改訂版)(案)」に対して寄せられた御意見と市教委の考え方

- 意見提出手続の期間:令和5年12月4日(月)～令和6年1月12日(金)
○ 意見提出者:3人, 0団体

No.	御意見	旭川市教育委員会の考え方
1	<p>豊かな自然に恵まれた環境を活かして野外活動を増やしてもいいのかなと感じます。私自身自然があまりない地域の出身なので、旭川独自の良さを出した教育を行うという点でも、どんどん発信していくべきだと思います。そうした取り組みを続けていくことで子どもたちの記憶にも残っていくし、またそうした活動の中から自分のやりたいこと、夢を見つけていく子どもたちが出てくるかもしれません。</p> <p>地産地消によく取り組まれている給食メニューを出して頂き、親としてはとてもありがたいです。私自身が農業に従事していることもあり、子どもたちが自分たちの目で田植えや野菜作りを経験してくれたらもっと給食メニューに対するありがたみや理解が深まるのではないかと考えています。タブレットや英語教育もこれからの子どもたちには必要なことだと感じるのですが、あくまでも知識の1つとして考えています。ここ旭川にいて見て感じられることを子ども時代にたっぷり味わって人生の糧にしてほしい、そう願っています。</p>	<p>旭川の自然環境に触れたり、地場産品を知り、実際に食べたりすることは、子どもたちにとって、ふるさとへの愛着や夢の実現等のために重要な学びです。そのため、各学校では、自然豊かな施設での体験学習や学校園での栽培活動のほか、スキーや雪遊びの実施など、地域に応じた旭川ならではの活動を実施しています。</p> <p>今後も、旭川の良さを生かした多様な体験活動の充実を目指してまいります。</p>
2	<p>基本施策3、取組9のところで、“子ども達の多様な個性を伸ばす”“一人一人のニーズに対応した教育の充実”とありますが、特別支援学級にて支援が必要な児童を普通級から切り離して見るのではなく、共に同じ空間で過ごすことで、他児童も、色々な人がいることを知り、“多様な個性”も認められていくのではないかと考えます。</p> <p>支援児童においても、特別支援教育補助指導員(大人)が側に付いて指導するだけではなく、普通級児童との関わりの中で刺激を受け、様々な育ちに繋がる可能性を持っている。そんな実践を実際にこども園で見ることができました。画一的ではなく、多様な個性を伸ばす為には、様々な人との関わりと育ち合いの場が必要と感じます。</p>	<p>旭川市では、児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応するために、通常学級と特別支援学級の児童生徒が共に学ぶ交流学習を積極的に実施しているほか、個に応じて柔軟に学ぶことができる環境を用意するというインクルーシブ教育システムを進めているところです。</p> <p>今後も、児童生徒が学びの場において自己実現を図ることができるよう、特別支援教育補助指導員の資質能力の向上など特別支援教育の充実を図るほか、幼稚園、子ども園、保育所等との相互連携による幼児期の育ちを生かした学校教育を目指してまいります。</p>
3	<p>旭川市の北西部に位置する江丹別は、高齢化が進む一方で、若者の移住者は増加してきている。その若者たちの子どもが通うには、今の校舎は限界に達している。</p> <p>現在でも一冬に-30℃を下回る極寒の地であるにもかかわらず、築50年の校舎の北側は未だ一重窓で、生徒玄関は戸の隙間から雪が吹き込んでくる有り様。体育館の休み明けの室温はマイナス、雨漏りも頻繁に。</p> <p>学校に冷房設備を考え始めている今、旭川市立の当地の学校の暖房対策はこれでいいのか、早急に考えてほしい。</p> <p>校舎内の経年劣化は加速度的に進み、江丹別小中学校は学び舎として地域の避難所としての機能は果たせるのか疑問だ。</p> <p>過疎地の学校は地域の中心的存在、部分的な改修工事では間に合わないほどの築年数ではなかろうか。児童生徒数を考え併せても、町の学校よりコンパクトな校舎で新築校舎が建設できる規模なのである。これを地域エゴととらえてほしくない。北海道らしさを詰め込んだ江丹別に魅せられた移住者が定着するための最低限の要求。</p> <p>「第2期旭川市学校教育基本計画」目標2 子供たちの学びの環境を整える 是非ご一考いただきたい。</p>	<p>学校施設は、子どもたちにとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であるほか、地域住民にとってのコミュニティの拠点であるとともに、地域の防災拠点としての役割も担っていることから、修繕については、他の小中学校と同様に学校からの要望に基づき現地調査を行い、進めているところです。</p> <p>また、校舎の老朽化に対する対応については、築年数等を踏まえながら順次行っております。</p> <p>今後も、校舎の在り方や維持管理についての具体的な検討を進めてまいります。</p>